

## 新しい政治環境

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

政治は全てを決定する。そのためワシントン DC と同等の政治環境を整備する必要性を有するのである。

政治における分析とデータ化など、すそ野の広い、その現実的で実用性の有する政治基盤は、必ずその有用性を有することができるのである。

これは明確に、政治が全てを決定し行うことにおいて、それら政治環境の要求は必ず存在するのである。

政治のコンセンサスの共有や、理解性の拡大や人材の集結などは、その可能性を拡大させるものなのである。

これらは、必ず世界との対等性を実現できるものなのである。

政治の能力や理解の拡大はすなわち、現実の可能性の拡大であり、未来という現実の正しい創造なのである。

これらは次世代技術という新しい潮流が、既存現実の完全な崩壊を与えていることへの正しい対応なのである。

視点を変えてみると、これらは新しい可能性であり、決して悲観すべきものでないのである。

また既存企業環境はその飛躍において、未来という現実への参加と創造を与えることができるのである。

これは日本国が悲観でなく、希望を有する正しい理解なのである。インフラや経済基盤は、その新しい基準においてその創生を得ることは必ずできるのである。

しかしこれら全ては政治におけるリーダーシップを求めるため、政治環境の整備などはこれら現実を可能とする正しい選択なのである。